
【超実践ガイド】
Claude×外部ツール連携で
業務を激変させる！
～手作業ゼロの「委任」スタイルへの道～
SWISH!
GLOW!
SWIIH!
AUTOMATE!



【従来の働き方】人間がアプリ間の「橋渡し」をする非効率なコピペ作業。

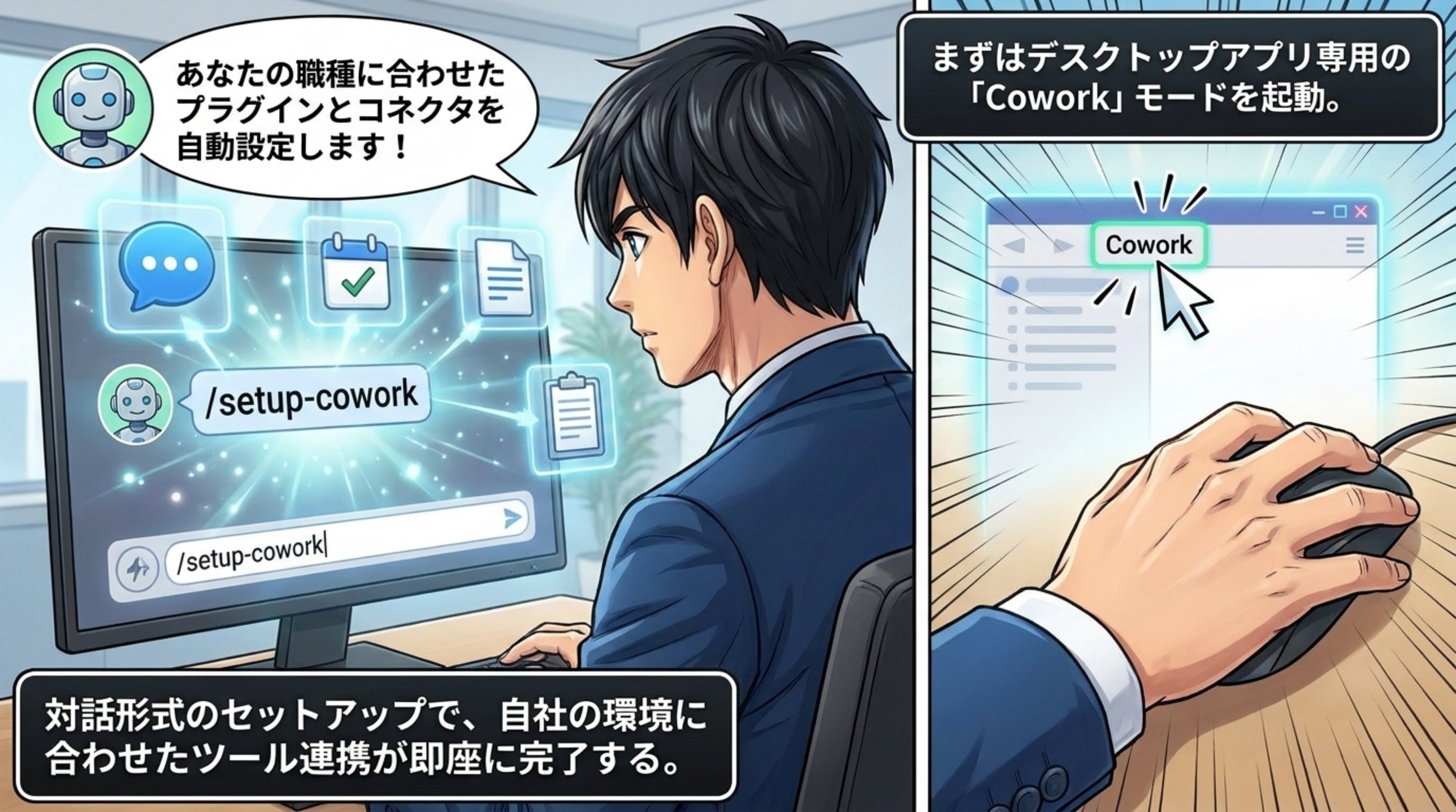


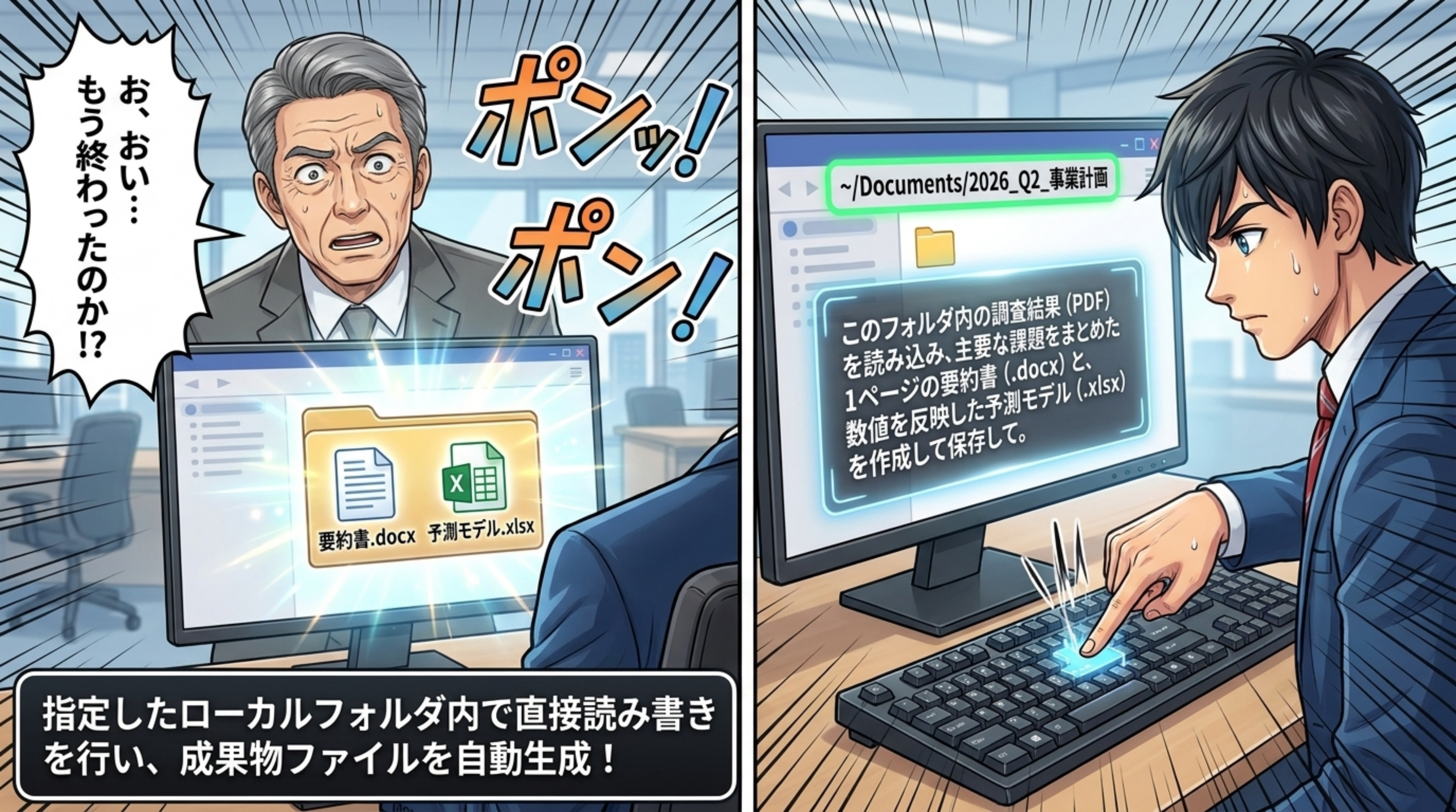
チャット応答

- 作業形態：1ターンごとの質問と回答
- 成果物：画面上にテキスト表示
  （手動コピペが必要）
- 完了状態：回答が出た時点で終了

委任スタイル / Cowork・MCP

- 作業形態：タスク全体の委任。
  複数ステップの自動連鎖。
- 成果物：指定フォルダ内へ完成ファイル
  （Word, Excel等）を直接保存。
- 完了状態：ユーザーが開いてすぐ業務に
  使える状態(成果物完成)で完了。


まずはデスクトップアプリ専用の
「Cowork」モードを起動。
Cowork
あなたの職種に合わせた
プラグインとコネクタを
自動設定します！
/setup-cowork
/setup-cowork
対話形式のセットアップで、自社の環境に
合わせたツール連携が即座に完了する。


お、おい…
もう終わったのか!?
ポンッ!
ポン!
要約書.docx
予測モデル.xlsx
~/Documents/2026_Q2_事業計画
このフォルダ内の調査結果 (PDF) を読み込み、主要な課題をまとめた1ページの要約書 (.docx) と、数値を反映した予測モデル (.xlsx) を作成して保存して。
指定したローカルフォルダ内で直接読み書きを行い、成果物ファイルを自動生成！

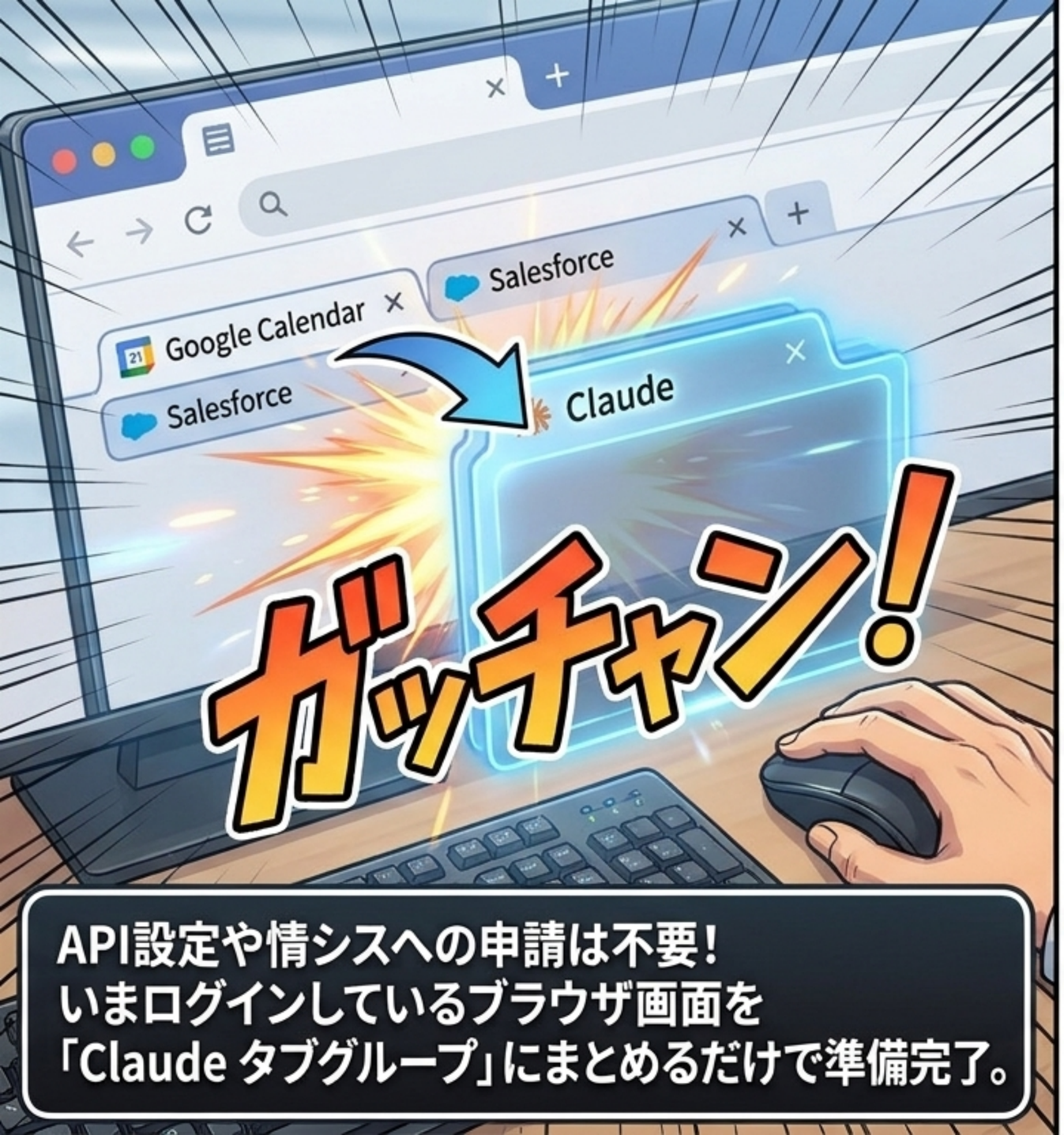
2段階ゲートモデル





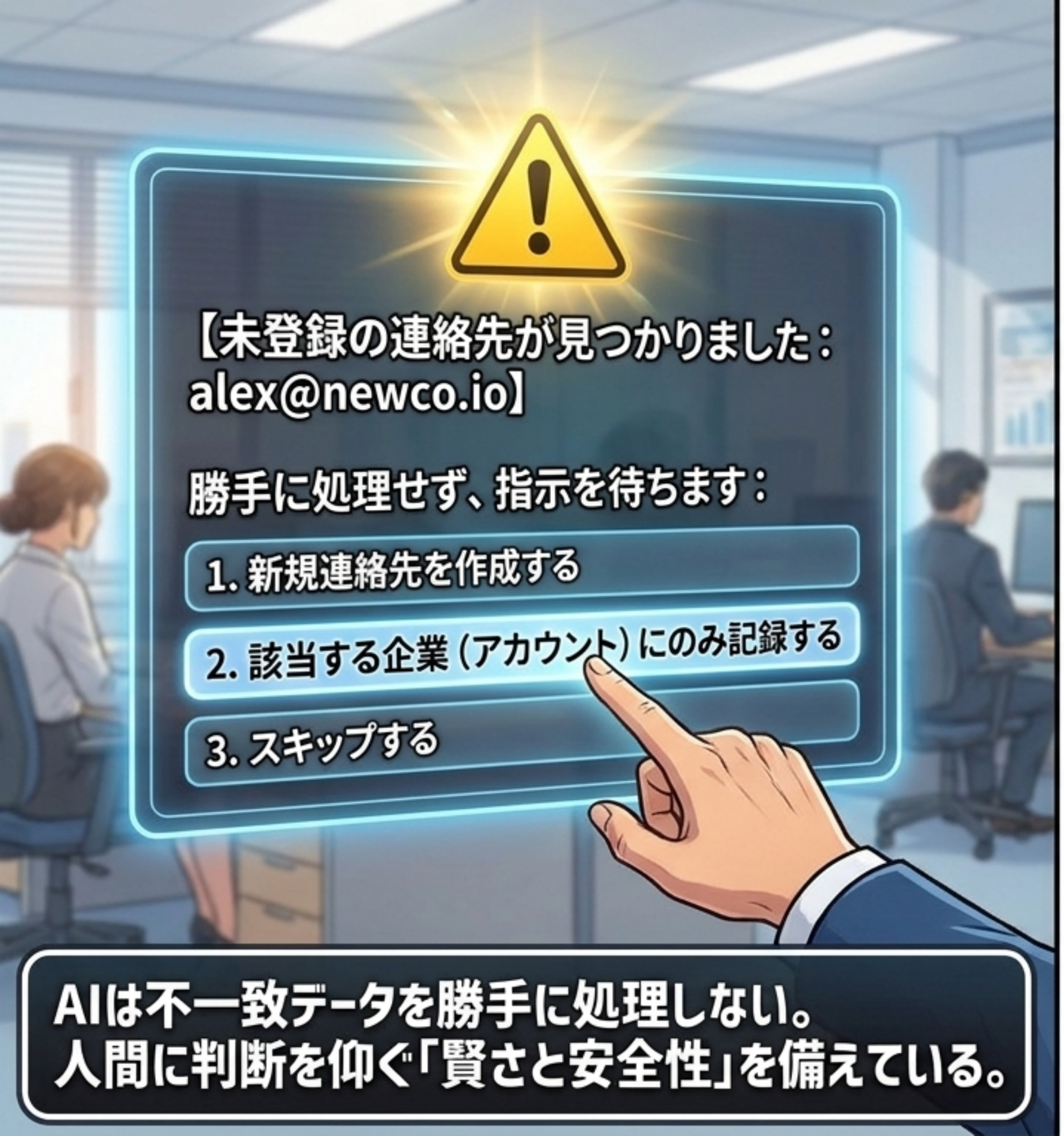
【よくあるつまずきと解決策】

- ☑ コネクタ接続エラー: 上記の「2段階ゲート」が両方開いているか確認。
- ☑ ファイル読み込み拒否: OSのセキュリティ設定でClaudeアプリへのアクセス権限を許可。
- ☑ Coworkが出ない: ブラウザ版ではなく、必ず「デスクトップアプリ」を使用すること。



API設定や情シスへの申請は不要！
いまログインしているブラウザ画面を
「Claude タブグループ」にまとめるだけで準備完了。







AIは不一致データを勝手に処理しない。
人間に判断を仰ぐ「賢さと安全性」を備えている。





「送信・保存」など不可逆なアクションの前には、必ず
人間の目視と承認（シールド）が挟まる。安心の安全設計。


Explore(探索)
Plan(計画)
Code(記述)
Commit(検証)
Claude CodeとMCPなら、
専門スキルもすぐ
すぐ呼び出せますよ！
実は医療データ標準(FHIR)の
検証APIのプロトタイプも
要るんだが…
開発チーム待ちだな。
ターミナルに常駐するエージェントが、自律的に思考ループを
回し、専門規格（FHIR等）のAPI操作も一気通貫で実行。


カシッ
/effort high
auto（標準）
high（複雑な複数ファイル修正）
low（トークン節約/高速）
max
（徹底デバッグ・セッション限定）
HUD
Thinking
※重要：レベルを上げてもAIの「知識量」は変わらない。
試行錯誤と自己確認の「頑張り具合」をコントロールするギアである。

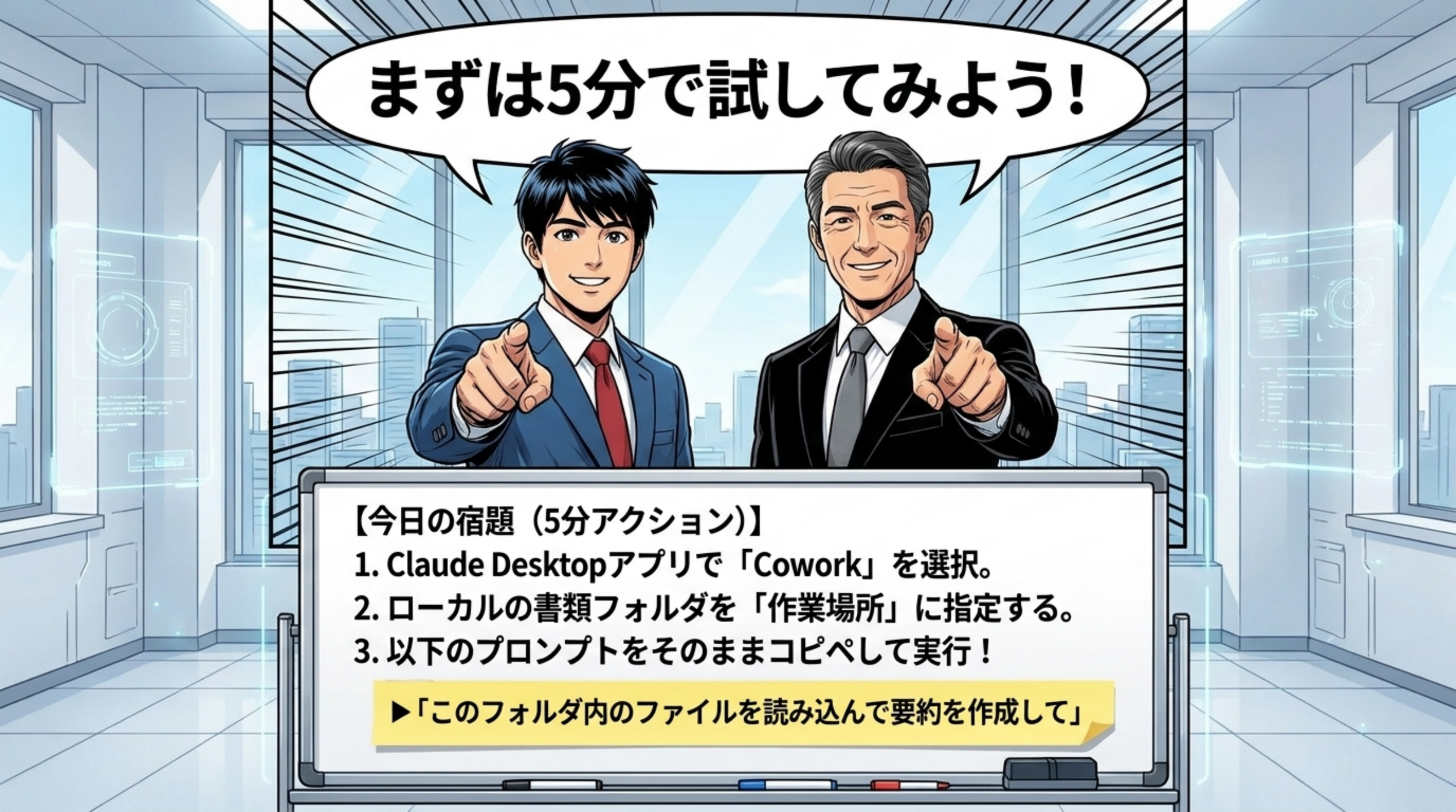


メモリ管理とモード切替

- メモリ不足時:
  /compact で記憶を圧縮
  /clear で完全リセットし、動作の重さを解消。

- 進行モードの使い分け:
  1. Plan Mode (慎重に計画だけ作成)
  2. マニュアル (1歩ずつ人間が承認)
  3. Auto-accept (低リスク作業の自動進行)


ツール連携の真の価値は、単なる「時間短縮」ではない。
人間の役割が、手作業をこなす「作業者 (Doer)」から、
AIに戦略を指示し承認する「ディレクター (Director)」へと昇華することだ。
驚きだ…！
完璧な連携。
君は天才か？！
CRMレポート＆
コード原型: 完了


まずは5分で試してみよう！
【今日の宿題（5分アクション）】
1. Claude Desktopアプリで「Cowork」を選択。
2. ローカルの書類フォルダを「作業場所」に指定する。
3. 以下のプロンプトをそのままコピペして実行！
▶「このフォルダ内のファイルを読み込んで要約を作成して」